



枕崎市では学校応援団などのボランティアの方々が、コロナに負けずに子供たちと様々な地域学校協働活動を行っています。今月も市内で行われた活動を紹介します。

～ついに収穫！ わたしたちの米～ 桜山小学校

4月13日に田植えをしてから約4か月。今回も校区内で農業を営む山崎己代治さんの指導で、まずは鎌を使っての手刈り。子供たちは、やり方を教わったのですが、はじめはうまく鎌を扱えず、上手に刈ることができませんでした。

手刈りで機械が入るスペースを確保できたら、次はコンバインの登場です。

例年だと山崎さんと一緒に機械に乗せてもらうのですが、コロナ禍ということで今年は機械で刈る様子を見学させていただきました。

コンバインで刈ると、あっという間でした。手刈りの苦勞がとてよく分かりました。

収穫したもち米は、12月の餅つき大会で使用し、うるち米は、家庭科の調理実習や宿泊学習の野外炊飯で自分たちで炊いて食べる予定です。

また、秋の桜山小 PTA バザーでの販売も行いますので、たくさんの人に食べてほしいと思います。



鎌を持って手刈りで稲を刈る児童

桜山小学校では、5年生が8月8日に、学校田で早期水稻の稲刈りを行いました。

枕崎地区公民館の夏休み青少年講座第3弾「書道教室」が、8月2日と3日に枕崎地区公民館で行われ、ボランティアの中山香一郎さんが、夏休みの習字課題の書写指導を行いました。

～夏休み青少年講座 第3弾 書道教室～ 枕崎地区公民館

コロナの影響で参加者は少ないでしたが、1日目に課題の練習をして、2日目に清書という日程で、「新酒祭り」の小学3年生以下の課題である「いも」の文字に取り組みました。

中山さんが課題と名前の手本を書き、手を取りながら「とめ・はね」などの文字を書く指導を行うと、指導を受けた児童はめきめき上達して、清書では自分でも満足のいく作品を書き上げていました。

参加した児童は、楽しく書道に取り組めた様子で「もっと習字を習いたい。」と話していました。



指導の中山さん(左)と参加した児童

～地域の高齢者を招き戦争体験談～ 立神小学校



戦争について語る小田さん、右は戸床さん

立神小学校では8月19日の出校日に、地域の高齢者を学校に招いて6年生2クラスが多目的教室で戦争についての話を聞きました。立神小学校で毎年取り組んでいる行事で、立神地区公民館の青少年講座の一つにもなっています。この日は、戸床安孝さんと小田弘さんが話をしてくれました。小田さんは、枕崎沖に沈んだ戦艦大和や枕崎空襲の写真をDVDで上映して解説しました。また、A3判の表に戦争被害の写真を、裏に枕崎の戦後復興の写真を印刷し、ラミネートして子供たち全員に手渡しました。

戸床さんは、昭和20年7月29日の枕崎大空襲で市街地の9割の家屋が焼けたことを説明し、「戦争は起こしてはいけないことを皆さんに伝えたい。皆さんもしっかり覚えて代々伝えてほしい。」と子供たちに訴えました。子供たちからは、「枕崎に爆弾が落とされたことを初めて聞きました。」「空襲を受けたばかりか、終戦から1か月後に台風まで来るとは、どんなに大変だったか想像するだけで悲しくなります。」などの感想がありました。

立神小学校では8月19日の出校日に、地域の高齢者を学校に招いて6年生2

クラスが多目的教室で戦争についての話を聞きました。

立神小学校で毎年取り組んでいる行事で、立神地区公民館の青少年講座の一つにもなっています。この日は、戸床安孝さんと小田弘さんが話をしてくれました。

小田さんは、枕崎沖に沈んだ戦艦大和や枕崎空襲の写真をDVDで上映して解説しました。また、A3判の表に戦争被害の写真を、裏に枕崎の戦後復興の写真を印刷し、ラミネートして子供たち全員に手渡しました。

戸床さんは、昭和20年7月29日の枕崎大



～なつがやってきた 木口屋の 自然花で自然体験～ 枕崎小学校



クワガタを捕ったと～

枕崎小学校の1年2組が7月6日に、1年1組が14日に、生活科の授業「なつがやってきた」を木口屋集落の「自然花(じねんか)」で行いました。

子供たちは、自然花にある遊具やツリーハウスで遊んだ

あと、近くのクヌギ林まで歩いて行きクワガタを捕ったり、畑でブルーベリーの収穫も行いました。

その後、竹の水鉄砲をみんなで作り、ドラム缶やゴエモン風呂に入ったりして水鉄砲で水遊びを楽しみました。

自然の少ない枕崎小校区ですが、木口屋の里山で思いっきり遊んで、自然体験をすることができました。



竹で作った水鉄砲で水遊び

学校応援団ボランティア 募集中！ 詳しくは 生涯学習課まで TEL76-1286